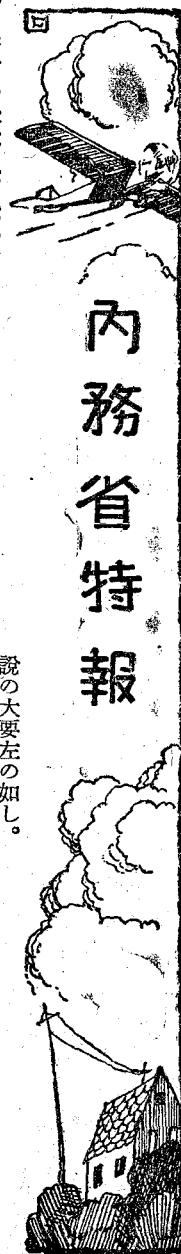


内務省特報



◎内務省告示第三百七十四號

市制第三條北海道一級町村制第一條及町村制第三條ニ依リ、昭和十七年六月十日ヨリ北海道常呂郡野付牛町ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ北見市ヲ置ク

昭和十七年五月二十七日

内務大臣 湯澤三千男

◎内務省告示第三百八十六號

道路法第二十條第二項ノ規定ニ依リ本大臣ニ於テ新設又ハ改築ヲ爲シタル國道ニシテ工事ノ終了シタルモノ左ノ如シ

昭和十七年五月三十日

内務大臣 湯澤三千男

工事終了ノ期日

十八號 自鳥取縣鳥取市立川町
至同縣同市東品治町 同

昭和十七年五月三十日

十九號 自岡山縣岡山市大雲寺町
至同縣同市南方 同

昭和十七年五月三十日

◎貴衆兩院に於ける東條首相の演説

貴衆兩院に於ける五月二十七日 東條内閣總理大臣の爲したる演

說の大要左の如し。

本日、開院式ニ當リマシテハ、特ニ優渥ナル勅語ヲ賜り、誠ニ恐懼感激ニ堪ヘナイ次第アリマス私ハ諸君ト俱ニ謹ンデ聖旨ヲ奉體致シマシテ、報效ノ誠ヲ致シ、飽ク迄モ聖戰目的ヲ完遂セムコトヲ衷心ヨリ期スルモノアリマス、大東亞戰爭ノ勃發以來未ダ

半歲ニ満タザル短期間ニ於キマシテ、皇軍ハ隨處ニ敵兵力ヲ擊摧シ大東亞ニ於ケル要域ハ、悉ク皇軍ノ占有スル所トナリ、米英ノ海上部隊ハ、脆クモ太平洋及印度洋ヨリ驅逐セラレ、茲ニ戰勝御嘉尙ノ優渥ナル勅語ヲ拜シマスルコトハ、實ニ八回ニ及ソダノデアリマス、斯クノ如ク相次グ無上ノ光榮ニ浴シ、國威ヲ世界ニ宣揚致シマシタルコトハ、誠ニ前古未會有ノ事蹟デアリマス、而モ

此ノ世界ニ類例ナキ、連戰連勝ト並ソデ、各方面共ニ盛大ナル新建設ガ行ハレ、今ヤ大東亞戰爭ノ目的ハ、著々トシテ達成セラレツ、アルノデアリマス、而シテ南方ニ於ケル作戰ニ策應致シマシテ、在支皇軍ノ活躍ハ、愈々重慶軍ノ勢力ヲ減殺セシメツ、アルノデアリマス、更ニ又北方ノ守り儼トシテ、磐石ノ堅キヲ加ヘツ、アルノデアリマス、是レ偏ニ御稟威ノ下、皇軍ノ義謀力戰ノ賜

デアリマシテ、私ハ全國民ト共ニ皇軍將兵各位ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表シ、幾多忠勇義烈ノ英靈ニ對シ、謹ソデ敬弔ノ誠ヲ捧グル次第デアリマス、斯クテ從來、米英等ノ桎梏ノ下ニ呻吟シテ居リマシタ大東亞ノ諸民族ハ、今ヤ八紘爲宇ノ大精神ニ包容セラレテ、各々其ノ本然ノ姿ニ復歸シ新シキ世界新秩序建設ノ一翼ヲ擔當シテ、新生ノ第一歩ヲ踏ミ出スニ至リマシタルコトハ、誠ニ御同慶ニ堪ヘナイ所デアリマス、此ノ外征ノ偉業ニ策應致シマシテ、國內防衛ノ備ヘハ、愈々充實強化セラレテ居ルノデアリマス、而シテ一億國民ノ義勇泰公ノ精神ハ、日ト共ニ昂揚セラレ、大東亞戰爭ヲ飽ク迄モ戰ヒ抜クノ不屈不撓ノ決意ガ、質實剛健ナル實生活ノ上ニ具現セラレツ、アル事實ニ對シマシテハ、眞ニ感激ノ至リニ存ズル次第デアリマス、併シナガラ此ノ内外共ニ有利ナル現在ノ態勢モ、戰爭完遂ノ上ニ於テハ、勝利ノ端緒ヲ打開シ得タルニ過ギナイノデアリマシテ、對米英戰ニ於ケル勝敗ノ決ガ、正ニ今後ニ於ケル總力戰ノ結果ニ存スルコトハ、更メテ言ヲ俟タザル所デアリマス、世界制霸ヲ徒ニ夢ミタル米英兩國ノ勢力ヲ、根柢ヨリ崩壊セシムニアラザレバ、斷ジテ正義ノ戈ヲ收メザルコトハ、畏クモ宣戰ノ大詔ヲ拜シ奉リマシタル開戰當初ヨリ、終始一貫渝テザル一億同胞ノ牢乎タル決意デアリ、不動ノ信念デアルト確信致スモノデアリマス、是ニ於テ今後ニ於ケル戰爭指導ノ要諦ハ世界驚異ノ的トナツテ居リマスル陸海協同作戰ノ妙ヲ愈々發揮シ、

飽ク迄モ敵ヲ索メテ、必ズ之ヲ擊滅シ、益々續戰ノ戰果ヲ擴充致シマスルト共ニ此ノ豪壯ナル積極作戰ニ呼應シ、雄大ナル建設ヲ敢行シ以テ國家總力ノ飛躍的向上ヲ圖リ、之ニ依リ愈々必勝ノ態勢ヲ強化セムトルニアルノデアリマス、政府ハ、之ガ爲ニ常ニ不拔ノ信念ト又不動ノ決意トヲ以テ、一億國民ノ陣頭ニ立チ夙夜全力ヲ竭シ常ニ周到ナル準備ヲ完整シツ、同時ニ内外ノ情勢ニ即應シテ果敢ナル實行ニ出デ以テ輔弼ノ重責ヲ全ウシ國民ノ信賴ニ副ハムコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、曩ニ大東亞戰爭ノ眞只中ニ於テ敢テ總選舉ノ施行ヲ奏請致シマシタル所以ノモノモ、亦茲ニアルノデアリマス、而シテ今回ノ總選舉ヲ契機トシテ、國民ノ盛り上る熱意ハ、只管大東亞戰爭完遂、費賛政治體制確立ヲ目指ス澎湃タル氣運トナリ、全國津々浦々ニ漲ツタノデアリマス、而シテ此ノ全國民ノ眞底カラノ政治的意欲ハ、遂ニ結晶シテ費賛政治會ノ創立トナリ、茲ニ多年ニ亘ル全國民ノ願望デアル新シクモ達シキ政治力ノ結集ヲ見ルニ至リマシタルコトハ、邦家ノ爲誠ニ欣快ニ堪ヘナイ所デアリマス、又一方政府ハ、此ノ澎湃タル國民ノ熱意ニ應ヘ、各種國民運動ハ、出來得ル限り之ヲ眞劍ナル國民ノ自發的運動ニ委ネ、以テ其ノ健全ナル發展ヲ期待スベク、擧ゲテ之ヲ大政費賛會ノ傘下ニ集メ、斯クテ大政費賛會ハ擴充セラレタル使命ニ應シテ、其ノ機能ヲ刷新シ、意氣ヲ新タニシ、以テ萬民費賛、臣道實踐ノ國民運動中核體トシテ、一路邁進スルコト相

成ツタノデアリマス、而シテ政府ハ之ニ照應シ、行政各廳ノ事務ヲ能フ限リ簡素強力ナラシメ、其ノ人員ノ餘剩ハ、擧ゲテ之ヲ大東亞全般ニ亘ツテ活躍スル我ガ國人士ノ充實ニ資セント致シテ居ルノデアリマス、今ヤ一億國民總進軍ノ國內勢成リ、全國民ノ志氣盛々旺盛ニシテ、官民一體、米英擊滅ノ爲宗璧ノ陣容ヲ以テ邁進シ得ルコト相成ツタノデアリマス、邦家ノ爲誠ニ御同慶ニ堪ヘヌ次第デアリマス、此ノ際特ニ帝國ノ經濟力ニ付テ一言申上ゲタイト思フノデアリマス、抑々帝國ノ經濟ハ從來米英依存ノ傾向ガ強ク、之ガ爲常ニ米英ニ依ツテ掣肘ト被ツテ居ツタノデアリマス、政府ハ夙ニ是ニ顧ミマシテ、支那事變發生以來斯クノ如キ帝國ノ經濟的弱點ヲ極力補正シ、重要國防物資ノ自給態勢ヲ確立致スコトヲ決意シ、一方ニ於テヘ支那事變ヲ遂行シツク、他方ニ於テヘ四箇年計畫ヲ立テテ、國防上絕對必要ナル物資ノ増強ヲ圖ツテ參ツタノデアリマス、斯クテ大東亞戰爭開始直前ニ於キマシテハ、既ニ米英ノ壓迫ニ對處シ敢テ大東亞戰爭ヲ斷行シ得ル經濟力ヲ確立スルニ至ツタノデアリマス、是レ國民各位ノ粒々辛苦ノ結晶アリマシテ、此ノ勞苦ニ對シマシテハ深甚ナル感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマス、更ニ大東亞戰爭開始以來ノ皇軍ノ赫々タル戰果ハ南方諸地域ニ於ケル石油、「ゴム」、錫、其ノ他ノ重要國防資源ヲ悉ク我手ニ收メ我ガ國經濟ノ自主、自給性ハ、將來ノ努力ト相俟ツテ、益々強靱トナツタノデアリマス、即チ日滿

華ノ物資ト、南方地域ノ物資ヲ併セテ、帝國ノ自給生產ノ基礎ハ完全ニ確立セラレ、我ガ戰時經濟ハ、武力戰ニ伴フ消耗ヲ完全ニ補填充足シ得マルト共ニ、今後ノ戰力擴充ヲ確乎不動ノ基礎モノガアルノデアリマス、加之敵國側ニ對シマシベ、從來彼等ノ依存シ來レル重要國防資源ノ供給ヲ遮断スルノ結果トナリ、是ガ敵國側ニ與ヘツ、アル打擊ハ、頗ル重大ナルモノガアルノデアリマス、政府ハ以上ノ新事態ニ即應致シマシテ、大東亞全域ノ綜合經濟力ヲ遺憾ナク發揮シ、戰爭遂行力ヲ急速ニ増強スルコトヲ主眼ト致シマシテ、本年度物資動員計畫及生產力擴充計畫ヲ確定シ、之ヲ中核トシテ、輸送、勞務、交易及資金等ニ關スル諸計畫ヲ策定致シマスルト共ニ、之ガ實現ノ爲必要ナル各般ノ措置ヲ執ツテ居ル次第デアリマス、尙政府ハ、國民生活ノ安定確保、特ニ食糧確保ガ總力戰遂行上絕對緊要事タルノ本質ニ鑑ミマシテ、大東亞全域ノ物資ヲ活用シ、大東亞各住民ノ民生トモ彼此聯合シ之ガ萬全ヲ期セムトシテ居ルノデアリマス、即チ本年度ヨリハ新タニ生活必需品ニ關スル物資動員計畫ヲ樹立シ、之ガ遂行ニ關シマシテハ陸海軍ヨリモ格別ナル協力ヲ受ケツ、アル次第デアリマス、固ヨリ戰時經濟ノ本質ト致シマシテ、之ヲ局部的ニ或ハ短期的ニ見マスルトキニハ不便不足ハ眞ニ已ムヲ得ザルモノガアルノデアリマス、併シナガラ之ヲ大局上カラ見マシタル場合、今後如何ナル長期戰

ニ對シマシテモ、國民生活ノ上ニハ斷ジテ不安ナシト言明シ得ル
コトハ私ノ誠ニ欣快トスル所デアリマス、次ニ我ガ對外關係ニ付
キマシテ一言致シタイト存ジマス、日滿華及「タイ」ノ四國ガ、
戰爭目的ヲ完全ニ同ジクシ、相互ノ國交ハ益々緊密ノ度ヲ加ヘテ
居リマスルコトハ、誠ニ力強ク又頗モシキ限リデアリマス、先般
滿洲國ノ建國十周年ニ當リ皇帝陛下ノ深厚ナル恩召ヲ體シテ、謝
恩特派大使張景惠氏來朝シ、御親書ヲ捧呈セラレタル上、我朝
野ニ謝恩ノ至誠ヲ披瀝セラレタノデアリマス、而モ天皇陛下ニ
於カセラレマシテハ、畏クモ高松宮宣仁親王殿下ヲ滿洲國ニ御差
遣遊バサレ、滿洲建國十周年ニ祝意ヲ表セラレタノデアリマス、
更ニ中華民國國政府主席汪精衛氏ガ、民國ノ元首トシテ滿洲國
ヲ往訪セラレ、滿華兩國本然ノ友好關係ヲ愈々緊密ナラシメ、併
セテ滿洲國ガ建國十年ニシテ、飛躍的ニ進歩セル實情ヲ親シク視
察セラレタノデアリマス、而シテ近ク同政府ヲ代表シ、訪日特派
大使トシテ褚民誼氏ガ來朝セラル、コトトナツタノデアリマス、
又更ニ「タイ」國ヨリ、日「タイ」同慶祝特派大使「ビヤ・ペ
ホン・ポン・ペユハ・セーナー」中將ガ來朝セラレマシテ、國書ヲ
捧呈セラレ、我ガ朝野ノ各方面ト親密ナル交體ヲ全クセラレタノ
デアリマス、是等ノ事實ハ、眞ニ日滿華「タイ」四國ガ、政治上
ニ、經濟上ニ財政上ニ、將又軍事上ニ、愈々相寄リ、相扶ケテ、
互ニ其ノ強弱性ヲ加ヘ、相俱ニ提携シテ、大東亞共榮圈確立ノ推進

力タラムトスル烈々タル同志ノ氣魄ヲ表示スルモノデアリマス、
茲ニ帝國政府ハ全國民ト共ニ、斯クノ如キ團結鞏固ナル大東亞ノ
情勢ニ對シ、衷心ヨリ祝福ノ意ヲ表スルモノデアリマス、歐洲方
面ニ於キマシテハ、獨伊其ノ他ノ諸友邦ガ共同ノ戰爭目的ノ爲ニ、
帝國ト益々協力一致シテ幾多ノ艱難ヲ克服シ、茲々不屈不撓ノ健
鬪ヲ續ケ、偉大ナル戰果ヲ擧ゲラレツ、アリマスルコトハ、茲ニ
帝國政府トシテ深甚ナル敬意ヲ表明スルモノデアリマス、帝國ハ
大東亞戰爭ニ於ケル不斷ノ勝利ヲ以テ、盟邦獨伊ノ米英兩國ニ對
スル善戰健闘ニ呼應シ、今後益々全力ヲ擧ゲテ、兩者ノ綜合戰果
ヲ擴充セムトスルモノデアリマシテ、特ニ必然的ニ作戰上ニ密接
ナル聯繫ヲ圖リ盟邦相携ヘテ新タル世界ノ秩序ヲ確立セムトス
ルモノデアリマス、米英兩國ガ相次グ敗戦ト前途ノ不安トニ焦躁
シ、今次ノ戰爭ヲ目シテ所謂人種戰ナリト曲ゲテ呼號シツ、アリ
マスル如キハ彼等ガ常ニ躊躇スル謀略的宣傳ニ外ナラナイノデア
リマシテ正義ノ上ニ協力セル我等權輿國ノ堂々タル結束ガ陰陥ナ
ル米英ノ此ノ種策謀ニ依リマシテ、苟モ微動ダニスルモノニアラ
ザルコトハ、既ニ今日世界周知ノ事實デアリマス、由來他民族ノ
犠牲ニ於テ、自己ノ發展ト安逸ヲ圖ル米英傳統ノ惡辣ナル政策ハ、
ノ果敢ナル進撃ニ依ツテ清掃セラレタル「ビルマ」ニ於キマシテ
ハ、皇軍ノ正義ニ基ク平和的指導ノ下ニ全地域ノ「ビルマ」人ガ

翕然トシテ起チ、光榮アル獨立ノ機運ヲ自ラ促進シツ、アリマスルコトハ、誠ニ賴モシキ限リデアリマス、斯クテ英帝國ノ「インド」防衛ノ前進根據地ハ悉ク皇軍ノ占據スル所トナリ、「インド」人宿望ノ蹶起獨立スベキ絶好ノ機會ハ、正ニ到來致シタノデアリマス、英國ノ國璽尙書「クリップス」ヲ、繞ル英印會議ガ、何等ノ成果ヲ譽ゲルコトナク遂ニ決裂致シマシタルコトハ、「インド」ガ既ニ精神的ニ英國ヨリ獨立セルコトヲ表明スルモノト考ヘラレルノデアリマス、即チ英國ノ「インド」領有ノ精神的基礎ハ、既ニ消滅シタリト申スペカ、「インド」獨立ノ歴史的第一歩ハ正ニ始ツタノデアリマス、併シナガラ今日尙「インド」ニハ英國領有ノ形骸ヲ存シ、軍事施設ハ儼存シ其ノ兵力ハ増強セラレテ居ルノデアリマス、帝國ハ、米英ノ兵力ガ「インド」ニ殘存スル限りニ於キマシテハ、之ヲ徹底的ニ破碎セムトスル罕乎タル決意ヲ有スルモノデアリマス、之ガ爲ニ無辜ノ「インド」民衆ノ禍ニ及ブコトモ、亦誠ニ已ムヲ得ナイ所デアリマス、此ノ際私ハ「インド」民衆ガ一段ノ勇猛心ヲ奮ヒ起シ、起ツテ米英軍ヲ驅逐シ、米英ノ勢力ヲ完全ニ芟除シ、以テ祖國獨立ノ實ヲ完ウセラレムコトヲ期待スルモノデアリマス、帝國ノ「ビルマ」戡定ニ伴ヒ、重慶政權ハ遂ニ孤立シ、没落ノ途ヲ辿リツ、アルノデアリマス、在支皇軍ノ努力ニ依リ、歸順投降シテ、中華民國政府ニ忠誠ヲ誓フ者慘々多ク重慶軍ノ戰意ハ日ヲ逐ウテ低下シツ、アリマス、自己ノ非ナルヲ

知リツ、敢テ悛メザル者ノ末路ハ、斯ククノ如ク憐ムベク、而モ帝國ハ該政權ノ抗戰ニ對シ、最後ノ膺懲ノ鐵槌ヲ下サムトスルモノデアリマス、我ガ精銳ナル陸海軍ノ緊密ナル協同作戦ニ依リ、渤海海戰ニ依リ、濱洲防衛ノ海上勢力ハ潰滅シ、今ヤ皇軍ノ前ニ西南太平洋ハ全ク我レニ留伏シ、濱洲ハ所謂太平洋ノ孤兒トナシタノデアリマス、殊ニ最近濱洲ノ周邊ニ於テ展開セラレタル珊瑚島海戰ニ依リ、濱洲ハ地理的環境ヲ考慮シ、以テ勇斷速力ニ其ニ對シ、私ガ曩ニ本議場ニ於テ申述ベマシタル所ニ思ラ致シ、國際的情勢ヲ洞察シ、其ノ地理的環境ヲ考慮シ、以テ勇斷速力ニ其ノ最モ重大ナル舉措ヲ決セラレムコトヲ、私ハ改メテ茲ニ要望スルモノデアリマス、今ヤ「インド」ハ動搖シ、重慶ハ没落セムトシ、濱洲ハ孤立致シマシタ翻シテ香港、昭南島、比島其ノ他ノ要域ハ、何レモ治安ト秩序ノ回復ニ伴ヒ、著々トシテ新建設圖ノ據點トナリ、更生ノ巨歩ヲ進メテ居ルノデアリマス、又太平洋、「インド」洋ニ於ケル我が海上權ハ、日一日ト擴大セラレテ居リマス、之ニ反シテ英國ハ、重要ナル海外ノ領域ヲ失ヒ、資源確保ノ途ヲ奪ハレ、其ノ國內整備亦進捗セズ、今ヤ重大ナル破局ニ直面シテ居ルノデアリマス、而シテ文敗戦相次グ米國ハ致命的打撃ヲ徒ニ隠匿シテ捏造ヲ事トスル宣傳謀略ニ依リ、國內ニ蜂起セル非難ト中立諸國ノ離反ヲ防格ニ汲々タル實情ニアルノデアリマス、可憐ナル部下將兵ヲ戰場ニ拋棄シテ逃避セル指揮官ヲ重ク用ユルガ如

キ或ハ無益瑣末ナル海上竊亂戦ヲ誇大ニ宣傳シテ、敗戦ヲ糊塗セ

ムトスルガ如キ、斯カル指導者ノ下ニ戰爭ヲ行ヒツ、アル米英國

民ニ對シ、私ハ憐憫ノ情ニ堪ヘナイ次第デアリマス、今ヤ帝國ハ

征戰最後ノ勝利ヲ確信シ、世界ニ比類ナキ雄渾周密ナル作戰ヲ益々

々果敢ニ進展セシメテ居ルノデアリマス、茲ニ政府ハ全國民ト共ニ

ニ渾然一體トナリ、舉國總力ノ向上充實ヲ圖リ、愈々兜ノ緒ヲ締

メテ皇國傳統ノ犠牲報國ノ精神ヲ益々發揮シ、速カニ征戰ノ目的ヲ

ヲ完遂シ、以テ聖慮ヲ安ンジ奉ラムコトヲ深ク期シテ居ル次第デアリマス、今回提出ノ議案ハ、計畫造船實施確保ニ關シマスルモノ等、時局ニ關シ緊急ナル事項ニ限定ヲ致シタノデアリマス、何卒御審議ノ上、速カニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切望ル次第デアリマス、終リニ臨ミ盟邦諸國ヨリ帝國ニ寄與セラレツ、アル協力ニ

對シ、深厚ナル謝意ヲ表明シマスルト共ニ、全國民各位ガ、獻身

御奉公ノ實ヲ擧ゲツ、アル報國ノ至情ト不屈ノ努力ニ對シ、重ネ

テ衷心ヨリ敬意ヲ表スル次第デアリマス。

◎大政翼賛會の機能強化

各省主宰の國民運動則ら產業報國、農業報國、商業報國、海運報國、青年團、婦人會の運動、選舉刷新、國民貯蓄獎勵、物資節約回収、健民運動等を大政翼賛會の傘下に收めて大東亞戰爭を勝ち抜くべき舉國體制を確立した譯である右に關し情報局の發表左の如し。

【情報局發表】本十五日の閣議において「大政翼賛會の機能刷新」に關し左の如く決定せり。

一、方針 大政翼賛會はその本來の使命たる萬民翼賛臣道實踐の

國民組織確立の推進中核體たるの實を一層發揮す。

これがため現存の各種國民運動を大政翼賛會の傘下に收め、

逐次これが調整充實を圖り國民が萬民翼賛臣道實踐の生活を營むことを活潑ならしむる組織の確立を推進す。

二、大政翼賛會の事業 (一) 大政翼賛運動の基底となるべき國民組織の確立 (二) 國民思想の統一、職域、奉公の徹底、國防生活の確立、戰時經濟の確保等のためにする大政翼賛運動の推進、

(三) 國民の鍊成 (イ) 一般的鍊成 (ロ) 國防技術の鍊成

尙右に關聯して左の事業を行ふ (一) 上意滲透狀況及び民情の查察 (二) 國民生活の指導相談

三、大政翼賛會の整備擴充に關する措置 (一) 行政各廳の主宰する各種國民組織確立の運動 (產業報國、農業報國、商業報國、海運報國等) に關する事務及び之に伴ふ國民組織の編成及び指導の事務を大政翼賛會に委讓す (二) 選舉刷新、貯蓄獎勵、物資節約及び回収、健民等國民運動の事務及び推進を大政翼賛會をして實施せしむ (三) 行政各廳の主管する國民鍊成機關を大政翼賛會に委讓す (四) 右各廳に關聯する行政各部の豫算は將來大政翼賛會に對する補助金に統一す (五) 大政翼賛會に對す

る監督は内閣總理大臣之に當り、なほ各種の組織及び運動に對ては關係主管大臣においてこれを指導す（六）大政翼賛會の機構に必要な改組を行ふ（七）大政翼賛會の經費は國庫補助及び寄附金とす（八）部落會、町内會等はその自治的機能を強化すると共に他面大政翼賛會の指導する組織としその間必要な調整を考慮す。

◎内務省委員の顔振れ

内務省

久我通顯 橋本實斐 安藤信昭
松平外與磨 田口彌一

（以上貴族院議員）

安藤覺 今牧嘉雄 勝田永吉
川崎末五郎 窪井義道 篠原義政
田中貢 中井一夫 西方利馬
別所喜一郎 宗前清 森田正義

（以上衆議院議員）

關口泰早川三郎 川崎靖純

（以上學識經驗者）

◎商工省分課規程中改正

商工省分課規程中左ノ通改正シ一昨十七日ヨリ施行セリ

第三條中第五號ヲ削リ第六號ヲ第五號トス

第四條ノニヲ第五條トシ第五條ヲ第六條トシ第六條ヲ第七條トシ

同條中「資金課」ヲ削ル

第七條ヲ第八條トシ同條第三號ヲ左ノ如ク改ム

同條中第四號ヲ削リ第五號ヲ第四號トシ同條第六號中「外地及滿洲、支那其ノ他海外ニ於ケル」ヲ「東亞共榮圈ニ於ケル」ニ改メ

同號ヲ第五號トシ同條中第七號乃至第十號ヲ削リ第十一號ヲ第六號トシ第十二號ヲ第七號トシ同號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

同條中第十三號ヲ削リ第十四號ヲ第十號トス

第九條ヲ削リ第八條ヲ第九條トシ同條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 工礦業ノ勞務計畫ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

九 工務官事務所ニ關スル事項

同條中第十三號ヲ削リ第十四號ヲ第十號トス

第九條ヲ削リ第八條ヲ第九條トシ同條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 工礦業ノ勞務計畫ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

同條ニ左ノ一號ヲ加フ

三 工礦業用電力計畫ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

第十條 物資動員課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 物資動員計畫ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

二 物資ノ運輸計畫ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

第十一條 中第五號ヲ第六號トシ第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

第十二條ヲ第七條トシ以下第二十條迄順次五條宛繰下ク

第十二條 企業局ニ整備課、商政課、工政課及資金課ヲ置ク

第十三條 整備課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 産業ノ整備ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

二 商業組合法、工業組合法及重要物產同業組合法ノ施行ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

三 産業設備營團ニ關スル事項

四 國民更生金庫ニ關スル事項

五 中小商工業者ノ產業施設ニ關スル事項

六 企業許可令ノ施行ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

七 企業整備令ノ施行ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

八 他課ノ主掌ニ屬セサル事項

第十四條 商政課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 商業ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

二 中小商業ニ關スル事項

三 商業報國運動ニ關スル事項

四 百貨店法ノ施行ニ關スル事項

五 倉庫業法ノ施行ニ關スル事項

六 不正競争防止法ノ施行ニ關スル事項

七 販賣轉旋施設ニ關スル事項

八 中小商工業者統後援護施設ニ關スル事項

九 博覽會共進會及展覽會ニ關スル事項

第十五條 工政課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 工業ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

二 中小工業ニ關スル事項

三 地方特殊工業ノ助成ニ關スル事項

四 工業ニ關スル地方檢查所ニ關スル事項

五 產業ノ能率增進及合理化ニ關スル事項

六 試驗研究指導機關ニ關合事務ニ關スル事項

七 工藝及工藝指導所ニ關スル事項

八 資源ノ回収及代用品ニ關スル綜合事務ニ關スル事項

九 土木建築ニ關スル事項

第十六條 資金課ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一 會社經理統制令ノ施行ニ關スル事項

二 臨時資金調整法ノ施行ニ關スル事項

三 中小商工業ノ金融ニ關スル事項

四 商工組合中央金庫ニ關スル事項

第二十一條ヲ第二十六條トシ同條中第四號及第五號ヲ削リ同條第
六條中「陶磁器試驗所及工藝指導所」ヲ「及陶磁器試驗所」ニ改
メ同號ヲ第四號トシ同條第七號ヲ第五號トス

第三十二條乃至第三十五條ヲ削リ 第二十二條ヲ第二十七條トシ以
下第三十一條迄順次五條宛繰下ク